

平成二十四年三月二日（金）

開場午後五時半

開演午後六時

紀尾井小ホール

入場料六千円

（全自由席）

■お問い合わせ・チケット販売

■華の会事務局

TEL 075-491-8968 FAX 075-491-8980

■紀尾井ホール

チケットセンター TEL 03-3237-0061

第十回 梅茂都

うめもとうめきぬはな  
梅衣華舞の会

道中双六  
霧の雨  
出口の柳

上方唄 地唄

第十回 梅衣華舞の会

地唄道中双六

立 方 楠 茂 都 梅 衣 華

唄・三弦  
竹川 裕  
井上満智子

京都を振り出しに、東海道五十三次をたどつて江戸の日本橋を上がりとする道中双六になぞらえて、街道沿いの風物を描いた作品です。何度も繰り返される短い三昧線の合の手の効果もあり、各地の廓のありさまや風俗がいきいきと、しかもテンポよく描写されています。当時の宿場町の様子を知る上でも貴重な作品です。

上方唄  
霧の雨

立 方 楠 茂 都 梅 衣 華  
唄・三弦 竹川 裕

正統な地唄とは違ひ、市井や遊里の名もない庶民によつて創作され伝承された上方唄には、独特の味わいのある名曲がありますが、「霧の雨」もその一つです。しつとりと哀愁を帶びた歌と絶妙な三昧線の調べにより、小品ながらも深い陰えいのある曲となつています。

地唄 出口の柳

立 方 楠 茂 都 梅 衣 華

唄・三弦  
松島弘美  
井上満智子

出口の柳とは、今も京都島原の大門口にある柳のこと。廓遊びに出掛けて大門を這入るときは、気もそぞろで柳のときは、名残りを惜しんで振り返ると目にとまるのである。

元禄時代に流行した歌祭文という曲の形式を色濃く残している点でも貴重な作品で、歌祭文に特徴的な旋律が、三味線の手に繰り返しあらわれ、当時の廓の情景を描写する上で、効果的に使われています。



The map shows the following locations and routes:

- Top right:** Kishio Station (2nd exit), Chitose Station (2nd exit).
- Middle right:** Kishio Hall (Small Hall), Tokyo 6-5, TEL 03-3237-0061.
- Bottom right:** Access times to various stations from Kishio Station.
- Left side:** Yoneda Station (JR line), Kishio Hall, Chitose Station (2nd exit), Kishio Station (2nd exit), Kishio Station (D exit), Chitose Station (D exit), and Kishio Station (E exit).
- Bottom center:** New宿通り (New宿通り), 清水谷坂 (Kiyosumi Valley Slope), 永田町駅 (7番出口) (Yoshida-chō Station (7th exit)), 赤坂見附駅 (D出口) (Akasaka-mitsuke Station (D exit)), ホテルニューオオタニ (Hotel New Otani), and 外堀通り (Outer Moat Street).